

東日本大震災により被災された皆様へ

平成23年3月11日に発生した、マグニチュード9.0という未だかつてない規模の東日本大震災によって犠牲となられた方々に対しまして心から哀悼の意を表するとともに、ご遺族の皆様には深くお悔やみを申し上げます。また、この大震災と東京電力福島原子力発電所事故によって被災或いは避難されておられる皆様におかれましても、心からお見舞いを申し上げます。

過日、私も現地に赴き被災地の現状を目の当たりにするとともに、身体の不調を感じておられる多くの避難者の皆様の診察に携わらせて頂きました。日々報道されている被災地の惨状のとおり、その被害は未曾有と言わざるを得ず、被災者の皆様が直面しておられる様々な苦しみは遙かに想像を絶するものとなっておりますのではないかと推察致します。

私ども奈良県立医科大学附属病院としましても、被災地の皆様の救護や復旧に少しでもお役に立てるよう、奈良県と連携しながら、皆様が必要としておられる救護支援をご提供するべく、発生当日の3月11日に本院DMATチームを直ちに派遣し、被災者の皆様の医療救護にあたらせていただきました。



〈 現地での診察風景 〉



〈 臨時救護所診察室風景 〉

なお現在は、3月19日から奈良県医療救護班として宮城県気仙沼市の気仙沼市立小原木中学校の避難所に臨時救護所を開設し、被災者の皆様の医療支援体制の維持に努めております。

最後になりましたが、私ども同様、被災者の皆様の救護や支援、復旧にご尽力頂いている方々に対して深く敬意を表するとともに、引き続き被災地の早期復旧・復興に向け、共にご協力くださいますよう、宜しくお願い申し上げます。



〈 臨時救護所前にて 〉

奈良県立医科大学附属病院
病院長 榊 壽右